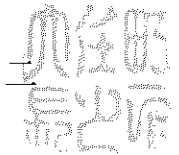


20 大事土第 488 号
平成 20 年 10 月 24 日

国土交通省道路局長 殿

大任町長 永 原 譲



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成 20 年 9 月 19 日付、国道企第 37 号にて依頼のあった標記の件について、別紙のとおり提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

福岡県大任町

◎少子高齢化が進む中、都市より地方のほうが深刻な課題と思います。なぜなら、地方におられる方々はほとんどが高齢者であるからです。一人暮らし方、身体に障害がある方、など緊急時での対応が難しくなっているからです。地球温暖化の影響といわれていますが、大きな災害が頻繁に発生し多くの高齢者の方々の人命が失われています。地方における道路整備においては、一つの道路より二つの道路(避難できる道路、山間部では林道等の活用)を、また、山間部での避難用道路整備など、救助しやすい道路の整備が必要ではないでしょうか。国道、県道等の主要道路のない地区においては、車一台が通れるかどうかの道路がまだまだたくさんあります、地域においては必要不可欠な道路であり今後改善していただくよう要望します。

今後の道路行政についての意見・提案

②ー1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

福岡県大任町

○現状

集落が集中している地区においては道路が狭く、緊急時での救急車両が対応できない状態がまだまだ多くある。

災害が起こると避難できるような(迂回路)道路整備。

高齢者が多くいる地区においては、道路等の管理ができず、見透視の悪い道路がほとんどである。

○課題

集落が集中している中での道路整備は、移転復旧等が絡んでくるので予算的な問題が生じる。

林道整備等の総合的な事業計画が必要。

管理については、大変だろうと思うが管理をきちんとしていただきたい。

②-2 地域の目指すべき将来像

道路整備においては、国道322号線バイパス道路の早期完成を要望いたします、なぜかと申しますと、今各地で物産館建設が展開されており、大任町もその物産館建設を平成22年4月オープンに向け現在実施中です。

それを取り巻く道路について地域の方々が参加できる道路、植樹、花壇、緑地などを設け、一年を通して美しい花が見られる道路を作っていき

たい。

現在、県道八女香春線、国道322号線バイパスに接する場所において大任町物産館整備事業を展開しておりますが、国土交通省、及び田川土木事務所に要望しています、彦山川右岸地区に接する沿線において、歩道、植樹帯設置を是非お願いいたします。

本町といたしましては、町全体を花いっぱい町おこしを計画、観光の目玉として、都市から農村への交流の場とし集客が図られることで町の活性化が推進され、強いては若者たちが集うような町にしたい。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

福岡県大任町町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	植樹帯、花壇等の設置。	花壇等を設置することで地域の方々が参加でき、管理が容易、都市からの集客がみこまれ、活性化が図れる。	
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	植樹帯、花壇等の設置において防護策等を取り払っており危険であるが、反射鏡等を設置し安全を確保している。	防護策がない状態であるが、植樹、植栽等により、道路との区分が明確なことで、反射鏡等による夜間走行でも美観による安全性が保たれるのでは。	
・少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	高齢者、身体障害者、子供、などが安心して歩ける歩道の設置。広々とした歩道、身体障害者用インターロッキング、等を考慮した道路計画。	親しみのある道路、美しくきれいな道路、このような道路においては、ごみなど捨てないようになるのでは。	
・ ・ ・			